

アンケートから見た市民の きもち

■あなたが年をとって寝たきりになったら、身の回りの世話は誰に頼みたいですか？

「男女共生・少子化に関する市民生活調査」平成17年11月

将来介護が必要になったら 男性「妻に世話を頼みたい」 女性「施設や病院に入る」



男性

第1位 配偶者(妻)...49.2%

第2位：施設や病院などへ入る...33.3%

第3位：自分の子ども
(息子でも娘でも)...6.8%



女性

第1位 施設や病院などへ入る...43.2%

第2位：配偶者(夫)...24.6%

第3位：家政婦やホームヘルパーなど、
外部からの訪問...10.4%



川口居宅介護支援事業所 介護支援専門員 渡部幸雄さん

一人暮らし、高齢者だけの世帯、子どもが県外在住など家族の状況はさまざまで、それによって介護サービスの利用の仕方も違います。誰が介護するか、施設が在宅かではなく、「今、困っていることは何なのか」を聞いて、本人や家族の生活をサポートする方法を考えています。

他人に世話をしてもらうのは恥ずかしい、家族に迷惑をかけたくないなど、いろいろな思いがあるかもしれません。でも、いざサービスを利用してみたら、利用前の不安や心配がやわらいだという人もたくさんいます。あまり重く考え過ぎずに、あなたの、そして家族の思いを聞かせてください。

困っていること、聞かせてください

あなたの気持ち、家族の気持ち...一度確認し合っておくのもいいかもしれませんね。

そうです。

昨年行われた国勢調査の結果から、秋田市では2025年には65歳以上の人口が総人口の30%を超えると予測されます。20年後には、市民の3人に1人が高齢者。自分の、家族の介護をどうするか、避けて通ることはできない問題になりそうです。

男性は住み慣れた家で気心が知れた妻に介護してもらいたい、女性はあてにならない(?)夫に頼むより、施設や病院でプロのお世話にといったところでしょうか。女性のほうが平均寿命が長いということも影響しているかもしれません。

半数近くの男性が妻に介護してもらいたいと思っているのに対し、女性の43%は施設や病院などへ入りたいと考えています。

そのとき、 あなたの選択は？





秋田市 姉妹都市 フォーラム

市民の力で国際交流を進めていこうと設立された「秋田市姉妹都市フォーラム」では、会員のみなさんが交流事業の企画や運営などを行っています。このコーナーでは、会員が取材した友好・姉妹都市の隠れた魅力、豆知識を紹介します。秋田市姉妹都市フォーラム事務局tel(866)2033(企画調整課内)

パッサウ市(ドイツ)

昭和59年4月8日姉妹都市提携
ドイツ・バイエルン州東部(オーストリアとの国境)
人口約5万人 時差 - 8時間
日本から約16時間30分(飛行機で成田 フランクフルト約12時間、鉄道でフランクフルト パッサウ約4時間30分)

音楽でドイツと日本の文化交流

5月24日、秋田県三曲連盟会長の鈴木鈴秋さん一行がパッサウ市で邦楽公演を行い、クラシックの本場・ドイツで100人を超える人々が尺八や箏の演奏に耳を傾けました。昨年は、秋田青少年音楽の家の招きで、パッサウ市のピアニスト、エルマー・スラムさんが秋田市でピアノ指導や学校訪問を行うなど、両市の市民が音楽を通して交流の絆を深めています。



神学校の荘厳な雰囲気の中に、和楽器の音色が響きました。

FIFAワールドカップ開催中!

さて、みなさんもご存じのとおり、ドイツでは7月9日までサッカーの祭典、FIFAワールドカップが開催中です。きっと国中が沸き立っていることでしょう。パッサウ市のあるバイエルン州では、日本

対クロアチア戦が行われるニュルンベルクと、開幕戦が行われたミュンヘンの2都市が会場となっていて、どちらもパッサウ市から車で2時間ほどです。

サッカーは多くのドイツ国民に親しまれていて、パッサウ市にも1862年に設立され140年以上の歴史を持つクラブチーム「FCパッサウ」があります。パッサウ市には、実力・人気とも世界クラスのチーム「バイエルン・ミュンヘン」の下部組織に所属してプロのサッカー選手をめざしている子どもたちもいるそうです。

ビア オーダー ヴァイン Bier oder Wein (ビール、それともワイン?)

ドイツでおいしい物といったら、ソーセージ、じゃがいも、そしてビールですが、実はワインも有名。ドイツはヨーロッパ最北のワイン生産国で、独特の香りとエレガントな風味が日本でも人気です。

ワールドカップで盛り上がるドイツでは、ビールとワイン、どちらがたくさん飲まれるのでしょうか。ドイツ人1人当たりの年間消費量を見ると、ビールは121%でチェコ、アイルランドに次いで世界第3位(ちょっと意外?)、ワインは23%で第6位です。かなり酒飲みのほうですよ。パッサウ市にも5つのビール工場があるそうですから、一度本場のできたてビールを味わってみたいものです。

災害時の応急活動にイオングループが協力



力を合わせて市民を守ります

5月24日、イオンモール(株)、イオン(株)ジャスコ御所野店、マックスバリュ東北(株)と秋田市の間で、災害時の援助についての協定を締結しました。地震などの大きな災害が発生したときには、避難場所として建物・駐車場の提供、生活物資の供給で被災者の支援に力を貸させていただきます。

トピックス Topics

新しい裁判のかたち 秋田地裁で模擬裁判

一般市民が裁判員として刑事裁判に参加し、被告人が有罪か無罪か、どのような刑にするかを裁判官と一緒に決める「裁判員制度」が平成21年5月までに導入されます。

5月25日、この制度を知ってもらおうと秋田地方裁判所で模擬裁判が開かれました。緊張した面もちで被告人の論述に耳を傾けていたのは、この日裁判員役を務めた市民6人。模擬裁判とはいえ、みなさん真剣な表情。人を裁くことのむずかしさを実感したようです。



模擬裁判は本番さながら

裁判員制度の
問い合わせ 秋田地方裁判所
tel(824)3121